

鳥羽市・サンタバーバラ市 中学生交換派遣事業

ホームステイ 体験記

市民課人権・市民交流係 TEL 25-1126



市内の中学生4人が7月30日～8月8日にかけて姉妹都市サンタバーバラ市を訪れ、8月9日～17日にはそれぞれの家庭がサンタバーバラ市の学生を受け入れました。

サンタバーバラに行つて

鳥羽中央中学校1年 宮濱 快世

僕はサンタバーバラに行つて、アメリカの文化を学びました。

僕がサンタバーバラに着いて、交換留学生の子達が迎えに来てくれました。そのままサンタバーバラのハンバーガー屋さんに行きました。みなさん優しく迎えてくれました。

次の日には動物園に行きました。キリンやライオン、カンガルー、ゴリラ、ミニアキヤットなどを見て楽しかったです。その日のお昼にはタコスを食べました。

その後、コイ君の家へ帰ってプールに行きました。プールではコイ君と水鉄砲で遊びました、楽しかったです。

次の日は海に行きました。カヤックに乗って少し離れたところまで漕いで楽しかったです。海では野生のアシカが泳いでい

て可愛かったです。その日の夜はリオン君の家でバーベキューをしました、楽しかったです。次の日にプールパーティーがありました。そこで鳥羽物語を披露して恥ずかしかったけど、楽しんで踊れました。その日の夜にオールドミッションサンタバーバラに行きました、バラ農園が綺麗でした。

次の日は朝ごはんにチキン屋さんに行き、朝から最高なご飯でした。お昼にトライチップサンドウィッチを食べて美味しかったです。そのままダチョウのいるところに行きました、餌をあげてすごく怖かったです。次にソルバングというところに行つて、いろいろなお店がありました。ソルバングのキャンディー屋さんに行き、友達にお土産を買いました。渡したらすごく喜んでくれました。

次の日はサンタバーバラの市長表敬訪問に行きました。サンタバーバラの市議会での挨拶で英語を間違えてそれがニュースに載つたので、すごく恥ずかしいです。次にサンタバーバラの裁判所に行きました、広かったです。そのままターゲットに行きました。アメリカのポテトチップスなどを爆買いしました。

次の日はサンタバーバラの大学に行きました。大学ではコ

スプレをした人がいっぱいいました。サンタバーバラの大学のお土産屋さんで友達へのお土産を買いました。その日の夜はリオン君の家でお泊りをして楽しかったです。

次の日にサンタバーバラのフィエスタに行き楽しかったです。偽物の卵をぶつけ合いました。屋台を見た後は、みんなでボーリングに行き楽しかったです。

次行ける機会があれば、もう一度行きたいです。



私の思い出

鳥羽中央中学校3年 岡野 羅夢

海外へ行くのは初めてだったので、出発する前は楽しみな気持ちと不安な気持ちでいっぱいでした。私は英語がとても苦手です。私は英語がとても苦手で全く話せないのでもっと英語を聞き取れるか、ホストファミリーのみんなと上手に話せるかがとても不安で心配でした。アメリカの空港に着いて最初に感じたことは、日本と全く違う雰囲気を書いてある文字が全部英語でとても不安な気持ちになりました。

一番印象に残ったことは、ホ



ずっと行きたかった サンタバーバラで…

鳥羽中央中学校3年 木田 茉優

念願だった事業への参加が決まったとき、嬉しさが胸いっぱいになり込み上げてきました。出発の日が近づくにつれて、サンタバーバラでの生活への期待と「英語が話せるかな」「積極的に関わることができるかな」という不安が入り混じり、私の心はドキドキと高鳴っていました。

サンタバーバラに到着し、不安でいっぱい私の私を待っていたのは、ホストファミリーと交換留学生のカトリヌでした。日本語を勉強中というカトリヌが、満面の笑みで「ようこそ、まひろー」と迎えてくれ、少し安堵したのを覚えています。サンタバーバラでの日々は、毎日が驚きと感動の連続でした。カヤック体験や、伝統的な祭り「フィエスタ」でカラフルな卵のカスカロンをみんなで割り合っただことなど、どれも忘れられない思い出です。美味しい食べ物も大きな楽しみでした。サンタバーバラのタコスやジュシー



なハンバーガーはどれも絶品で、中でもホストファミリーのスコットが手作りしてくれたワカモレは格別でした。今でも忘れられない思い出の一品です。

自分の気持ちを英語でうまく伝えられず、もどかしさや悔しい思いをした日もありました。そんなとき、いつも寄り添ってくれたのがカトリヌでした。私のつたない英語を根気強く聞いてくれ、時には通訳をして支えてくれた彼女は、決して忘れることのできない大切な親友となりました。そして、どんなときも私を本当の家族のように温かく迎え、いつも笑顔で包み込んでくれたホストマザーのローレルには、感謝してもしきれません。彼女の優しい笑顔に、何度も励まされました。

サンタバーバラで過ごした数多くの経験と、温かい人たちの出会いは、私の視野を大きく広げ、自分自身を成長させてくれるかけがえのない宝物となりました。この留学で得た勇気を胸に、これからも一歩一歩進んでいきたいです。そして、このような機会を与えてくれた家族や、この事業に携わってくれた全てのの人に心から感謝しています。本当にありがとうございました。

てくれました。サンタバーバラを離れる時はとても悲しくて寂しい気持ちになりました。私はメミとホストファミリーのみんなにまた会えることを願っています。

私は今回の留学を通して、自分の知らない環境へ飛び込み、自分から行動することで、少し自信を持つことができました。もちろん、うまくいかないことや困ることもありましたが、それも含めて大切な経験になったと思います。



英語で繋がった出会い 鳥羽中央中学校2年 小西 琉介

私は今回実際に行つたことがある友達に勧められて、ホームステイの事業に参加することになりました。

私は初めての海外だったので、海外で生活することが楽しみな気持ちがある一方で、英語がちゃんと通じるのか、上手くコミュニケーションが取れるのかどうかという不安もありました。しかしアメリカで話してみると、完璧な英語じゃなくても、自分が知っている単語を言つて

みると、結構理解してくれるので安心しました。到着して最初の方は自分の言いたいことが英語だと何て言えはいいのかがすぐ出てきませんでしたが、生活していくうちにある程度よく使う単語はすぐに覚えることができました。ネイティブの英語は、いつもリスニングテストで聞くスピードと全く違つたので、何回も聞き返すことが多かったです。ゆっくり喋ってもらうと大体わかりました。でも自分が知らない単語が出てくると、翻訳アプリを使わないとわかりませんでした。もし翻訳アプリがないと全然生活できていなかったと思います。

ホームステイ先の家の近くには、サンタバーバラのメインストリートであるステートストリートという通りがありました。そこではサンタバーバラ限定のお土産がたくさんありました。その通りはすごく広いので、リオンと自転車でもわりましました。自転車ですっているとリオンの友達にたくさん会ってハイトッチすることができました。日本では初めて会つてもハイトッチはあまりしなかったの、アメリカっぽい文化だなと思いました。リオンとステートストリート以外にもサンタバーバラの中をたくさん走りまわりました。夕日を見に行ったり、アイ